

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度耶馬溪ダム耐震性能照査及び建屋補強設計業務
業 務 概 要	・計画準備 1 式 ・資料収集・整理 1 式 ・現地調査 1 式 ・合理化案の検討 1 式 ・耐震補強設計 1 式 ・報告書作成 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 山国川河川事務所長 小野 朋次 中津市大字高瀬 1 8 5 1 - 2
契 約 年 月 日	令和 7 年 7 月 2 4 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	1 9 , 9 8 7 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 9 , 9 8 7 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	大分県中津市耶馬溪町大字柿坂 耶馬溪ダム
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7 年 7 月 2 5 日
履 行 期 間 (至)	令和 8 年 3 月 1 9 日
備 考	入札情報サービス (P P I) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度耶馬溪ダム耐震性能照査及び建屋補強設計業務
2. 履行場所 大分県中津市耶馬溪町大字柿坂 耶馬溪ダム
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名2丁目4番12号 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、耶馬溪ダム放流設備建屋のうち、クレストゲート操作室、選択取水設備操作室、利水放流バルブ室の3施設を対象として、レベル2地震動に対する耐震補強検討を行うとともに、耐震補強の詳細設計及び補強対策後のダム堤体の構造及び安定性への影響について評価を行う業務である。

2) 業務の内容

・計画準備	・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
・資料収集整理	・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
・現地調査	・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
・合理化案の検討	・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
・耐震補強設計	・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
・報告書作成	・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を18者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び「ダム本体に設置される建屋の耐震補強設計を実施する上での留意点」に係る技術力を備えていると判断される。特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、及び評価テーマの「ダム本体に設置される建屋の耐震補強設計を実施する上での留意点」に対する技術提案について、余条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、提案内容に説得力があり、提案内容を裏付ける業務実績が十分に示されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

山国川河川事務所 ダム管理課長